

いぶり
平成30年北海道胆振 東部地震による被害及び
消防機関等の対応状況（第35報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある）
※年について特段の記載がない場合は全て平成30年である。

令和元年8月20日（火）13時00分
消 防 庁 応 急 対 策 室
※下線部は前回からの変更箇所

1 地震の概要（気象庁情報）

- (1) 発生日時 平成30年9月6日3時7分
- (2) 震央地名 胆振地方中東部（北緯42.7度、東経142.0度）
- (3) 震源の深さ 37km（暫定値）
- (4) 規模 マグニチュード6.7（暫定値）
- (5) 各地の震度（震度5弱以上）
 - 震度7 厚真町
 - 震度6強 安平町、むかわ町
 - 震度6弱 札幌市東区、千歳市、日高町、平取町
 - 震度5強 札幌市清田区、白石区、手稲区、北区、苫小牧市、江別市、三笠市、恵庭市、長沼町、新ひだか町、新冠町
 - 震度5弱 札幌市厚別区、豊平区、西区、函館市、室蘭市、岩見沢市、登別市、伊達市、北広島市、石狩市、新篠津村、南幌町、由仁町、栗山町、白老町
- (6) 津波 この地震による津波の心配なし
- (7) 地震活動状況（9月6日3時7分以降に発生した、最大震度5弱以上の地震）

9月6日	3時7分	震度7	胆振地方中東部
	6時11分	震度5弱	胆振地方中東部
10月5日	8時58分	震度5弱	胆振地方中東部

2 被害の状況（平成31年4月1日現在）

- (1) 人的被害
 - ・死者43人（札幌市3人、苫小牧市2人、厚真町36人、むかわ町1人、新ひだか町1人）
 - ・重傷者48人（栗山町1人、札幌市1人、江別市1人、北広島市1人、石狩市1人、苫小牧市9人、安平町7人、むかわ町24人、新冠町1人、帯広市1人、士幌町1人）
 - ・軽傷者734人（三笠市2人、芦別市1人、由仁町2人、札幌市294人、江別市4人、千歳市11人、恵庭市3人、北広島市6人、石狩市1人、室蘭市2人、苫小牧市15人、伊達市1人、厚真町61人、安平町10人、むかわ町250人、日高町36人、新ひだか町4人、平取町3人、函館市10人、帯広市12人、本別町1人、幕別町2人、音更町1人、厚岸町1人、猿払村1人）
- (2) 建物被害
 - ア 住家被害
 - ・全壊469棟（札幌市97棟、江別市1棟、千歳市1棟、北広島市17棟、厚真町224棟、安平町93棟、むかわ町33棟、日高町3棟）
 - ・半壊1,660棟（由仁町2棟、南幌町1棟、札幌市726棟、江別市23棟、千歳市1棟、北広島市20棟、苫小牧市5棟、登別市1棟、厚真町318棟、安平町357棟、むかわ町148棟、日高町54棟、平取町3棟、函館市1棟）
 - ・一部破損13,849棟（夕張市1棟、美唄市7棟、三笠市18棟、深川市1棟、由仁町19棟、長沼町28棟、栗山町14棟、沼田町1棟、南幌町4棟、新十津川町1棟、札幌市5,040棟、江別市186棟、千歳市246棟、恵庭市22棟、北広島市318棟、石狩市17棟、小樽市19棟、蘭越町1棟、岩内町1棟、室蘭市55棟、苫小牧市449棟、登別市38棟、白老町4棟、厚真町1,097棟、洞爺湖町1棟、安平町2,440棟、むかわ町3,207棟、日高町446棟、平取町120棟、新ひだか町35棟、函館市10棟、森町2棟、帯広市1棟）
 - イ 非住家被害
 - ・2,490棟（札幌市32棟、江別市6棟、厚真町1,324棟、安平町894棟、むかわ町233棟、平取町1棟）

- (3) 重要施設等の被害（消防本部から聴取）
- ・室蘭市の石油コンビナート（新日鐵住金（株）室蘭製鐵所）で火災1件発生
→9月6日10時26分鎮火
 - ・厚真町の火力発電所（苫東厚真火力発電所）で火災1件発生
→9月6日10時15分鎮火

3 避難指示（緊急）等の状況（令和元年8月20日11時00分現在）

- (1) 避難指示（緊急）
13世帯32人（安平町）
- (2) 避難指示（緊急）等の状況（発令市町村）

都道府県名	避難指示（緊急）	避難勧告
北海道	北広島市、厚真町、安平町、むかわ町、日高町、平取町	厚真町、安平町、むかわ町、日高町、平取町

4 避難所の状況（平成30年12月21日17時00分現在）

避難者なし

5 地方公共団体における災害対策本部の設置状況

【北海道】9月6日 3時09分 災害対策本部設置
→12月28日 17時30分 廃止

6 地元消防機関等の対応

道内応援を含めた消防関係機関（消防本部・消防団）により救助活動等を実施
北海道及び札幌市の消防防災ヘリにより情報収集活動を実施

7 緊急消防援助隊の活動体制（※詳細は別紙のとおり）

《活動人員規模》

部隊	延べ活動人員	活動期間
陸上	593隊 2,268名	9月6日～10日 計5日間
航空（ヘリ）	49隊 364名	9月6日～10日 計5日間

《救助実績》

陸上	航空	合計
8名	16名	24名

8 消防庁の対応

9月6日 3時07分 消防庁長官を長とする消防庁災害対策本部を設置（第3次応急体制）
→11月1日 17時00分 廃止

3時10分 震度5弱以上を観測した北海道に対し適切な対応及び被害報告について要請

4時45分 消防庁職員2名の北海道庁への派遣を決定

4時45分 消防庁職員2名の胆振東部消防組合消防本部への派遣を決定

5時00分 消防庁職員1名の丘珠空港への派遣を決定

7時30分 関係閣僚会議に総務大臣が出席

7時40分 消防庁職員5名が北海道に向けて出発

9時45分 消防研究センター職員2名の現地への派遣を決定

10時41分 北海道及び札幌市に対し「大規模地震発生後の危険物施設の安全確保について」を發出

12時45分 消防研究センター職員2名が北海道に向けて出発

13時00分 消防庁職員1名の丘珠空港への派遣を決定

13時30分 消防庁職員1名が丘珠空港に向けて出発

17時50分 北海道に対し「北海道胆振地方中東部を震源とする地震に伴う長時間停電を踏まえた防火対策の徹底について」を發出

17時50分 災害対策拠点となる地元の各消防本部や災害対策本部等の非常用電源等

用としての燃料の確保に留意するよう北海道に要請

18時00分 関係閣僚会議に総務大臣が出席

21時00分 胆振東部消防組合消防本部に派遣していた消防庁職員1名の派遣先を厚真町役場に変更

9月7日 9時30分 関係閣僚会議に総務大臣が出席

10時00分 北海道庁に派遣していた消防庁職員1名の派遣先を胆振東部消防組合消防本部に変更

10時00分 丘珠空港に派遣していた消防庁職員1名の派遣先を胆振東部消防組合消防本部に変更

18時00分 関係閣僚会議に総務大臣が出席

22時00分 胆振東部消防組合消防本部に派遣していた消防庁職員1名の派遣先を北海道庁に変更

9月8日 10時00分 関係閣僚会議に総務大臣政務官が出席

17時00分 関係閣僚会議に総務大臣政務官が出席

9月9日 15時00分 消防研究センター職員2名の現地への派遣を決定・出発

18時15分 関係閣僚会議に総務大臣が出席

9月10日 13時00分 関係省庁災害対策会議に応急対策室長が出席

9月11日 11時30分 関係省庁災害対策会議に応急対策室長が出席

9月12日 13時30分 関係省庁災害対策会議に応急対策室長が出席

9月13日 16時00分 関係閣僚会議に総務大臣が出席

9月18日 11時30分 関係省庁災害対策会議に応急対策室長が出席

9月20日 16時00分 関係省庁災害対策会議に応急対策室課長補佐が出席

問い合わせ先
 消防庁応急対策室
 高橋・濱田・高木・中尾
 TEL 03-5253-7527
 FAX 03-5253-7537